※令和４年度以降入学生用

学校番号	112

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、動きや機器の特性を踏まえて考える「映像メディア表現」、作品の良さや美術文化について考える「鑑賞」の４つの分野について学習していきます。
・様々な材料、表現方法に触れながら造形の基礎を身につけます。表現形式の特性や形体、色彩などに着目して学習する中で、自分なりの表現を探してみましょう。また、一人ひとり違う見方や考え方、表現の仕方に触れ、それぞれの美術について考えを深めましょう。

２　学習の到達目標

(1)幅広い創造活動を通して、対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション	・学習進度の確認を行う ・1年間の学習イメージをもつ ・用具の種類や特性を理解する ・鉛筆を使いこなす	a:鉛筆を使った表現方法を理解し、その特性を生かして描画している。 c:美術の多様な表現に関心をもち、学習に臨むことができている。	ワークシート		活動の様子
	グレースケール	・鉛筆と練り消しゴムを使用し、クロスハッチングで 9 段階の明暗を表現する	a:鉛筆の種類とその特性を理解し、クロスハッチングの技法を活用することができている。なおかつ、正確に 9 段階のスケールを作ることができている。 b:意図に応じて鉛筆や練り消しゴムを使い分けることができる。 c:教科書や見本を参考にするなどして鉛筆の表現に関心を持ち、主体的に制作することができている。	完成作品	完成作品	活動の様子 学習の記録
	手のデッサン	・自分の手を観察し、ポーズを変えながらスケッチする ・ポーズを決め、自分の手を鉛筆デッサンする	a:スケッチとデッサンについて表現様式の特性を理解し、テーマを追求して作品を完成させている。 b:手の形を観察してポーズを決定し、形体や構成などを考え表現することができる。また、よさや表現の工夫点など自身の作品について振り返り考えることができている。 c:手の表情について考察し、自らポーズを決め、主体的に制作することができている。	完成作品	アイデアスケッチ 完成作品	活動の様子 アイデアスケッチ 学習の記録

※令和４年度以降入学生用

	色彩基礎	・色彩の基本的な知識を身につける ・アクリルガッシュ絵の具の基本的な使い方を体験し、理解する ・12色相環、5段階の明度差・彩度差、暖色・寒色の色彩構成作品を制作する	a:色の働きや効果について理解している。アクリルガッシュ絵の具で混色したり配色を考えたりしながら課題を完成することができる。 b:色彩や構成を考えながら意図に応じた表現をすることができる。 c:教科書を参考にしたり生活の中の美術に着目したりしながら創造活動を行うことができる。	ワークシート 完成作品	完成作品	活動の様子 ワークシート 学習の記録
	モダンテクニック	・スパッタリング、マーブリング、デカルコマニー、フロッタージュなどの技法を身につける ・意図せずできる形や色を味わい楽しむ	a:異なる材料や道具を使ってできる様々な技法(表現方法)を身に付けることができている。 b: 偶然できる形や色、表現の工夫について考え、そのよさや面白さなどを味わい、美術についての見方や感じ方を深めている。	ワークシート	ワークシート	
2	消しゴムハンコによるパターン模様	・文字のデザインと印象について考える ・文字をデザインする ・デザインした文字から2種類選び消しゴムハンコを制作する ・ハンコの押し方や色の組み合わせを工夫しパターン模様をつくる	a:デザインされた文字がもつ造形的な特徴とその働きを理解している。表現の工夫を行い、目的を考え、作品を完成することができる。 b:デザインされた文字がもつ造形的な美しさや意図などについて考えることができる。 c:実験をくり返し考察を重ねてより良い作品を作ろうとしている。	ワークシート 完成作品	ワークシート 完成作品	活動の様子 ワークシート 学習の記録

※令和４年度以降入学生用

	動植物レリーフ	・スマートフォンなどを使用し資料を収集する ・選んだ動植物の特徴をとらえたスケッチを行い、構想を練る ・材料の特性と表現方法の特性を理解する ・彫刻刀の使い方を理解しレリーフを制作する	a:資料を基に動物や植物の形体を立体的に把握し、スケッチすることができる。また、彫刻刀を適切に使用し、レリーフを制作することができる。 b:スケッチを基にして、材料の特徴やレリーフの構図を考えながら図案の構想を練ることができる。また、よさや美しさ、構成の工夫などについて作品の見方や感じ方を深めることができている。 c:主体的に創造活動や鑑賞活動に取り組むことができている。	ワークシート 完成作品	ワークシート 完成作品	活動の様子 学習の記録
3	グリーティングカード	・送る季節や送り手など、目的を考えたデザインを行う ・ポップアップカードやエンボスカードなどの表現方法とその効果を学ぶ ・機能や効果を考え、カードを制作する	a:表現方法を創意工夫し、計画を基に創造的に表現することができる。意図に応じて道具の特性を生かすことができる。 b:目的を考え主題を生成することができる。また、表現形式の特性を考え、構想を練ることができる。 c：送る季節や送り手のことを考え、よりよい作品を作ろうとしている。	完成作品	完成作品	活動の様子 学習の記録
	油彩（リンゴとビン）	・油彩絵の具についての基本的な知識を身につける ・油絵の具の基本的な使い方を体験し理解する ・リンゴとビンの形体、質感を観察し、画面構成を考えて画用紙にデッサンする ・油絵の具の特性を理解し、リンゴとビンの静物画を制作する	a:形体や質感など造形的な特徴を捉えてデッサンすることができる。また、油絵の具の特性を理解し、効果的な混色や重ね塗りを行い、静物画を完成することができる。 b:油絵の具の特性を生かし、モチーフの形体や色彩、質感や構成について考え、表現の構想を練ることができている。 c:手順や描画方法を考えることで多様な表現が生まれることを体験し、主体的に作品を作り上げることができる。	ワークシート 完成作品	ワークシート 完成作品	活動の様子 学習の記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用